

## 令和8年度 入学式 告辞

今日の佳き日に、令和8年度の石川工業高等専門学校入学式を挙行できますことは、私ども教職員および在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に心から御礼申し上げます。

本年度は、第1学年に入学する学生208名、第3学年に編入学する留学生3名、第4学年に編入学する学生2名、さらに専攻科に入学する学生30名、合わせて243名の新入生を迎えることとなりました。

新しく入学あるいは進学された皆さん、ご入学、おめでとう。皆さんを心から歓迎いたします。専攻科に進学された方々を別にすれば、多くの皆さんにとって、高専における生活は未知のものでしょうか。新しい生活に対する大きな夢と期待、そして少しの不安を胸に、そこに座っておられることと思います。

本校は、昭和40年に国立の高専として石川県の中心に位置する津幡町の東、高台の自然豊かなこの地に設立されて以来、「人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者育成のための高等教育機関」との基本理念の下、約9800人の卒業生を輩出してきました。それらの先輩方は国内外の様々な分野で活躍しています。

新入生の皆さんは、なぜ石川高専を選んだのでしょうか？数学や理科が得意な人、また、ロボットや車が好きな人もいるでしょう。他にも、橋や建築物に興味がある人、プログラミングやゲームの制作を志す人もいるかもしれません。理由はそれぞれ異なると思いますが、本校の専門性の高い教育実績に魅力を感じたのではないのでしょうか。

高専は、中学卒業後に入学し、本科の5年間で高校から大学学部の7年間に相当する学びを提供します。大学に引けを取らない優秀な先生方が、皆さんをしっかりと支え導いてくれるほか、同じ日に入学を迎えた多くの仲間たちと助け合い、切磋琢磨できる環境が整っています。さらに、上級生たちも学業や課外活動を通じて、頼れる先輩として後輩を助けてくれます。石川県の企業や自治体をはじめ、多くの地元の方々も、皆さんの志と未来に期待して、実践の場や研究の機会、貴重な資金の提供など、さまざまな形で学びを後押ししてくれます。石川高専の充実した環境のもとで、じっくりと自分の可能性を広げていってください。

さて、皆さんにひとつお願いがあります。世界では心を痛める出来事が続いており、現代社会は急速な変化と技術の進歩に直面しています。このような予測不能な時代を切り開く技術者となるためには、専門分野の学びを深めるだけでなく、幅広い分野に関心をもつ姿勢

が欠かせません。専門以外の技術や歴史、文学、語学、スポーツ、アートなどの分野にも触れ、多様な経験を積むことが大切です。新しい技術の代表であるAIは、すでに日常のさまざまな場面で活用され、今後ますます重要な役割を担っていくでしょう。文部科学省の報告書では、AIが様々な情報を処理する時代において、知識量よりも「自ら問いを立てる力」や「他者とともに価値を創り出す力」がより評価されると述べられています。石川高専では、課外活動やコンテスト、海外研修など、多彩な体験ができる機会が豊富に用意されています。皆さんには、学業に真剣に取り組むとともに、様々なことにチャレンジして、それぞれの未来を切り開くための確かな土台を築いてほしいと思います。

今年もブラジル、マレーシア、タイから3人の留学生を迎えることとなりました。言葉も文化も違う環境で勉強することは大変なことだと思いますが、多くの学友と交流し津幡の生活になじんで、思い切り日本の生活を楽しんでください。将来は、皆さんの国と日本の懸け橋になってくれることを希望いたします。

高等学校から第4学年に編入した学生は、これまで勉強してきたことをさらに高めるという強い目的意識を持っていることと思います。環境が変わって戸惑うことも多いかもしれませんが、新しい先生方や仲間と触れあい充実した学校生活を送ることを願っています。

専攻科に進学した30名の皆さん、皆さんにとっても今日は新しい挑戦を始める門出です。これからの2年間は、本科で培った基礎をさらに深め、より高い専門性と広い視野を育む期間となります。将来、人間性豊かな新たなイノベーションを生み出す技術者として、グローバルに活躍できるよう、さらに自らを鍛えてください。

最後になりましたが、新入生の皆さん、どうか今日の感激を忘れないでください。その思いを胸に、一人一人の夢の実現のため、自分の可能性を信じて、高専生活を過ごしてください。

ご家族の皆様方に改めてお祝いを申し上げます。教職員一同、新入生の学校生活が実り多いものとなるよう全力を尽くして参る所存です。家庭と学校が連携し、学生たちの成長を心を込めて見守り、励まして参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は誠におめでとうございます。

令和8年4月6日

石川工業高等専門学校長

富田 大志